

通信教育実施計画

教科	科目	単位数	レポート回数	スクーリング回数
国語	言語文化	2	6	3

使用教科書

東書	言文	701	新編言語文化
----	----	-----	--------

目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

学習計画

学習内容	ページ	レポート		スクーリング
		回	提出期限	
○さくらさくらさくら ○「美しい」ということ ○とんかつ ○雨漏りの音	10 ～ 44	1	5/24 (土)	6/21 (土)
○柳あおめる【短歌】 ○雪の深さを【俳句】 ○冬が来た ○少年の日 ○I was born	50 ～ 65	2	6/7 (土)	
○羅生門 ○夢十夜 ○デューク	72 ～ 116	3	8/16 (土)	9/20 (土)
○徒然草 ○枕草子 ○折々のうた	138 ～ 163	4	8/27 (水)	
○伊勢物語 ○平家物語 ○奥の細道	170 ～ 195	5	9/27 (土)	10/18 (土)
○訓読の基本 ○故事成語 ○絶句と律詩 ○論語 ○史話	210 ～ 253	6	10/4 (土)	

評価・単位修得認定の基準

○レポート・面接授業への取り組み状況及び年度末試験の結果を踏まえ、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。

○3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評価し、評定2以上の場合、単位を認定する。

通信教育実施計画

教科	科目	単位数	レポート回数	スクーリング回数
国語	論理国語2	2	6	3

使用教科書

東書	論国	701	新編論理国語
----	----	-----	--------

目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
- (2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

学習計画

学習内容	ページ	レポート		スクーリング
		回	提出期限	
○最初のペンギン ○豊かさと生物多様性	168 ～ 184	1	5/10 (土)	6/7 (土)
○物語の外から ○カフェの開店準備	186 ～ 208	2	5/24 (土)	
○鏡としてのアンドロイド ○ロボットが隣人になるとき	210 ～ 230	3	7/19 (土)	9/6 (土)
○言葉は「物の名前」ではない ○科学的「発見」とは	232 ～ 260	4	8/23 (土)	
○知識における作者性と構造的性 ○もう一つの知性	262 ～ 280	5	9/13 (土)	10/4 (土)
○ホンモノのおカネの作り方 ○未来のありか	282 ～ 301	6	9/20 (土)	

評価・単位修得認定の基準

○レポート・面接授業への取り組み状況及び年度末試験の結果を踏まえ、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。

○3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評価し、評定2以上の場合、単位を認定する。

通信教育実施計画

教科	科目	単位数	レポート回数	スクーリング回数
国語	文学国語2	2	6	3

使用教科書

東書	文国	701	文学国語
----	----	-----	------

目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
- (2) 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

学習計画

学 習 内 容	ページ	レポート		スクーリング
		回	提出期限	
○国語から旅立って ○書かれた風景の中へ ○檸檬	190 ～ 216	1	5/24 (土)	6/21 (土)
○コンビニの母 ○夏の姿 ○帰途 ○小諸なる古城のほとり ○金剛の露 ○平気	217 ～ 246	2	6/7 (土)	
○空っぽの瓶 ○クレールという女 ○父と暮せば	248 ～ 290	3	8/16 (土)	9/20 (土)
○舞姫	292 ～ 328	4	8/27 (水)	
○演技する「私」 ○映画の可能性のために	330 ～ 346	5	9/27 (土)	10/18 (土)
○葉桜と魔笛 ○蠅	348 ～ 374	6	10/4 (土)	

評価・単位修得認定の基準

- レポート・面接授業への取り組み状況及び年度末試験の結果を踏まえ、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。
- 3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評価し、評定2以上の場合、単位を認定する。

通信教育実施計画

教科	科目	単位数	レポート回数	スクーリング回数
地理歴史	地理総合	2	6	3

使用教科書

東書	地総	701	地理総合
----	----	-----	------

目標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

(2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

(3) 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

学習計画

学 習 内 容	ページ	レポート		スクーリング
		回	提出期限	
第1編 地図や地理情報システムでとらえる現代世界 第1章 私が暮らす世界 第2章 地図や地理情報システムの役割	5 ～ 36	1	6/14 (土)	7/19 (土)
第3章 資料から読み取る現代世界	37	2	7/5 (土)	
第2編 国際理解と国際協力 第1章 人々の生活文化と多様な地理的環境 1節 生活文化の多様性と国際理解	67			
2節 生活文化と自然環境①地形 3節 生活文化と自然環境②気候	68 ～ 91	3	9/6 (土)	10/18 (土)
4節 生活文化と産業	92	4	10/4 (土)	
第2章 さまざまな地球的課題と国際協力 1節 地球環境問題 2節 資源・エネルギー問題	135			
3節 人口問題 4節 食料問題 5節 居住・都市問題 6節 民族問題 7節 持続可能な社会の実現をめざして	136 ～ 172	5	11/22 (土)	12/20 (土)
第3編 持続可能な地域づくりと私たち 第1章 自然環境と防災 第2章 生活圏の調査と地域の展望	173 ～ 212	6	12/6 (土)	

評価・単位修得認定の基準

- レポート・面接授業への取り組み状況及び年度末試験の結果を踏まえ、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。
- 3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評価し、評定2以上の場合、単位を認定する。

通信教育実施計画

教科	科目	単位数	レポート回数	スクーリング回数
地理歴史	日本史探究	3	9	3

使用教科書

東書	日探	701	日本史探究
----	----	-----	-------

目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

(2) 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

(3) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

学習計画

学習内容	ページ	レポート		スクーリング
		回	提出期限	
第1編 先史・古代の日本と東アジア 第1章 先史社会の生活と文化 第2章 歴史資料と先史・古代の展望 第3章 古代社会の形成と展開 1節 1・2	7 ～ 33	1	5/24 (土)	7/19 (土)
1節 3・4 2節	34 ～ 64	2	6/14 (土)	
第2編 中世の日本と世界 第1章 中世社会の成立 第2章 歴史資料と中世の展望 第3章 中世社会の展開 1節	65 ～ 97	3	7/5 (土)	10/18 (土)
2節	98 ～ 122	4	9/6 (土)	
第3編 近世の日本と世界 第1章 近世社会の形成 第2章 歴史資料と近世の展望 第3章 近世社会の展開 1節 1	123 ～ 144	5	9/27 (土)	10/18 (土)
1節 2・3・4・5 2節	145 ～ 186	6	10/4 (土)	

第4編 近現代の地域・日本と世界 第1章 近代社会の幕開け 第2章 歴史資料と近現代の展望 第3章 近現代社会の展望 1節	187 ~ 217	7	10/25 (土)	12/6 (土)
2節 3節 4節	218 ~ 269	8	11/8 (土)	
5節 6節 7節 8節 第4章 現代の日本の課題の探究	270 ~ 321	9	11/22 (土)	

評価・単位修得認定の基準

- レポート・面接授業への取り組み状況及び年度末試験の結果を踏まえ、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。
- 3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評価し、評定2以上の場合、単位を認定する。

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数
公 民	公 共	2	6	3

使用教科書

東書	公共	701	公共
----	----	-----	----

目 標

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
- (3) よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

学習計画

学 習 内 容	ページ	レポ-ト		スクーリング
		回	提出期限	
第1部 「公共」のとびら 第1章 公共的な空間をつくる私たち—社会のなかの自己 第2章 公共的な空間における人間としてのあり方—生き方—共に生きるための倫理	7 ~ 35	1	5/17 (土)	6/21 (土)
第3章 公共的な空間における基本的原理—私たちの民主的な社会 第2部 自立した主体として社会に参画する私たち 第1章 民主政治と私たち	36 ~ 83	2	5/31 (土)	
第2章 法の働きと私たち	84 ~ 111	3	9/6 (土)	10/4 (土)
第3章 経済社会で生きる私たち	112 ~ 145	4	9/20 (土)	
第4章 私たちの職業生活 第5章 国際社会のなかで生きる私たち テーマ1・テーマ2	146 ~ 173	5	10/18 (土)	11/15 (土)
第5章 国際社会のなかで生きる私たち テーマ3・テーマ4 第3部 持続可能な社会づくりに参画するために	174 ~ 212	6	11/1 (土)	

評価・単位修得認定の基準

- レポート・面接授業への取り組み状況及び年度末試験の結果を踏まえ、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。
- 3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評価し、評定2以上の場合、単位を認定する。

通信教育実施計画

教科	科目	単位数	レポート回数	スクーリング回数
数学	数学 I	3	9	3

使用教科書

東書	数 I	704	新数学 I
----	-----	-----	-------

目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

(2) 命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。

(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

学習計画

学習内容	ページ	レポート		スクーリング
		回	提出期限	
1章 数と式 1節 文字と式	32~47	1	5/3 (土)	6/14 (土)
2節 実数	48~57	2	5/17 (土)	
3節 方程式と不等式	58~71	3	5/31 (土)	
2章 二次関数 1節 二次関数とそのグラフ	74~91	4	6/28 (土)	9/27 (土)
2節 二次関数の値の変化	92~101	5	7/19 (土)	
3章 三角比 1節 鋭角の三角比	104~116	6	8/27 (水)	12/13 (土)
2節 三角比の応用	117~127	7	10/11 (月)	
4章 データの分析	130~147	8	11/1 (土)	
5章 集合と論証	150~160	9	11/22 (土)	

評価・単位修得認定の基準

○レポート・面接授業への取り組み状況及び年度末試験の結果を踏まえ、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。

○3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評価し、評定2以上の場合、単位を認定する。

通信教育実施計画

教科	科目	単位数	レポート回数	スクーリング回数
数学	数学Ⅱ	4	12	4

使用教科書

東書	数Ⅱ	717	新数学Ⅱ
----	----	-----	------

目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- 数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統一的・発展的に考察したりする力を養う。
- 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

学習計画

学習内容	ページ	レポート		スクーリング
		回	提出期限	
1章 方程式・式と証明 1節 式の計算	4～11	1	5/3 (土)	6/7 (土)
2節 2次方程式	12～19	2	5/10 (土)	
3節 高次方程式 4節 式と証明	20～32	3	5/24 (土)	
2章 図形と方程式 1節 座標と直線の方程式	34～51	4	6/14 (土)	7/19 (土)
2節 円の方程式 3節 軌跡と領域	52～64	5	6/21 (土)	
3章 三角関数 1節 三角関数	66～77	6	7/5 (土)	
2節 加法定理	78～84	7	7/19 (月)	9/6 (土)
4章 指数関数と対数関数 1節 指数関数	86～95	8	8/16 (土)	
2節 対数関数	96～104	9	8/23 (土)	
5章 微分と積分 1節 微分係数と導関数	106～115	10	10/18 (土)	12/6 (土)
2節 導関数の応用	116～123	11	11/1 (土)	
3節 積分	124～133	12	11/15 (水)	

評価・単位修得認定の基準

- レポート・面接授業への取り組み状況及び年度末試験の結果を踏まえ、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。
- 3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評価し、評定2以上の場合、単位を認定する。

通信教育実施計画

教科	科目	単位数	レポート回数	スクーリング回数
理科	生物基礎	2	6	8

使用教科書

東書	生基	702	新編生物基礎
----	----	-----	--------

目標

<p>生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>

学習計画

学習内容	ページ	レポート		スクーリング
		回	提出期限	
1編 生物の特徴	10~37	1	5/3 (土)	5/17 (土)
2編 遺伝子とのはたらき	42~71	2	6/7 (土)	6/21 (土)
3編 ヒトの体の調節 1章 ヒトの体を調節するしくみ	76~99	3	7/5 (土)	7/19 (土)
2章 免疫のはたらき	100~117	4	8/16 (土)	9/6 (土)
4編 生物の多様性と生態系 1章 植生と遷移	122~143	5	9/20 (水)	10/4 (土)
2章 生態系と生物の多様性	144~165	6	10/18 (土)	11/1 (土)
復習 1		7	—	11/15 (土)
復習 2		8	—	12/6 (土)

評価・単位修得認定の基準

<p>○レポート・面接授業への取り組み状況及び年度末試験の結果を踏まえ、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。</p> <p>○3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評価し、評定2以上の場合、単位を認定する。</p>

通信教育実施計画

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数
理科	理科演習	2	8	8

目 標

既に履修修得した「科学と人間生活」について、以下に示す目標を踏まえて演習問題を行う。
 自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。
- (2) 観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。
- (3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

学習計画

学 習 内 容	レポ ー ト		スクーリング
	回	提出期限	
①光の性質 ②プラスチック ③植物の生育と光 ④水的作用による地形とその成因	1	5 / 3 (土)	5 / 17 (土)
①熱の性質 ②繊維 ③微生物と人間生活 ④天体の運行と人間生活	2	5 / 17 (土)	5 / 31 (土)
①光の性質 ②金属 ③ヒトの眼 ④日本の地形・景観・災害	3	6 / 7 (土)	6 / 21 (土)
①熱 ②繊維 ③微生物 ④天体の運行と人間生活	4	6 / 21 (土)	7 / 5 (土)
①光の性質 ②金属 ③ヒトの視覚と光 ④天体の運動	5	6 / 28 (水)	7 / 12 (土)
①熱のエネルギー ②食品の栄養素 ③食品と微生物 ④日本列島における地震	6	9 / 13 (土)	9 / 27 (土)
①光の性質 ②金属 ③光に対する植物の反応 ④地球・月・太陽	7	10 / 18 (土)	11 / 1 (土)
①熱の性質とエネルギー ②栄養素 ③微生物 ④日本における自然災害	8	11 / 1 (土)	11 / 15 (土)

評価・単位修得認定の基準

- レポート・面接授業への取り組み状況及び年度末試験の結果を踏まえ、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。
- 3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評価し、評定2以上の場合、単位を認定する。

通信教育実施計画

教科	科目	単位数	レポート回数	スクーリング回数
保健体育	体育 1	2	2	10

使用教科書

大修館	保健体育	701	保健体育
-----	------	-----	------

目標

<p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。</p>
--

学習計画

単元	学習内容	スクーリング	レポート
体育理論	運動やスポーツの効果的な学習の仕方	① 5/31 (土)	
体づくり 運動	体のほぐしの運動	② 6/14 (土)	
		③ 7/5 (土)	
		④ 7/12 (土)	
	実生活に活かす運動の計画	⑤ 7/19 (土)	
振り返り	面接授業①～⑤を受けて		①8/16 (土)
体育理論	運動やスポーツの効果的な学習の仕方	⑥ 8/25 (月)	
球技	バスケットボール	⑦ 8/25 (月)	
		⑧ 8/26 (火)	
陸上競技	短距離走・ハードル	⑨ 8/26 (火)	
		⑩ 8/27 (水)	
振り返り	面接授業⑥～⑩を受けて		②9/6 (土)

評価・単位修得認定の基準

- レポート・面接授業への取り組み状況及び年度末試験の結果を踏まえ、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。
- 3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評価し、評定2以上の場合、単位を認定する。

通信教育実施計画

教科	科目	単位数	レポート回数	スクーリング回数
保健体育	体育3	3	3	15

使用教科書

大修館	保健体育	701	保健体育
-----	------	-----	------

目標

<p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。</p>
--

学習計画

単元	学習内容	スクーリング	レポート
体育理論	運動やスポーツの効果的な学習の仕方	① 5/31 (土)	
体づくり 運動	体のほぐしの運動	② 6/14 (土)	
		③ 7/5 (土)	
		④ 7/12 (土)	
	実生活に活かす運動の計画	⑤ 7/19 (土)	
振り返り	面接授業①～⑤を受けて		①8/16 (土)
体育理論	運動やスポーツの効果的な学習の仕方	⑥ 8/25 (月)	
球技	バスケットボール	⑦ 8/25 (月)	
		⑧ 8/26 (火)	
陸上競技	短距離走・ハードル	⑨ 8/26 (火)	
		⑩ 8/27 (水)	
振り返り	面接授業⑥～⑩を受けて		②9/6 (土)

単 元	学習内容	スクーリング	レポート
体育理論	スポーツの発祥と発展	⑪ 9/27 (土)	
器械運動	マット運動	⑫ 10/18 (土)	
		⑬ 12/6 (土)	
陸上競技	長距離走	⑭ 12/13 (土)	
		⑮ 12/20 (土)	
振り返り	面接授業⑪～を⑮受けて		③ 12/23 (金)

単位修得認定の基準

- レポート・面接授業への取り組み状況及び年度末試験の結果を踏まえ、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。
- 3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評価し、評定2以上の場合、単位を認定する。

通信教育実施計画

教科	科目	単位数	レポート回数	スクーリング回数
保健体育	保健 1	1	3	3

使用教科書

大修館	保健体育	701	保健体育
-----	------	-----	------

目標

保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。

(1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。

(2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。

(3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

学習計画

学習内容	ページ	レポート		スクーリング
		回	提出期限	
1 単元 現代社会と健康 01 健康の考え方と成り立ち 02 私たちの健康のすがた 03 生活習慣病の予防と回復 04 がんの原因と予防 05 がんの治療と回復 06 運動と健康 07 食事と健康 08 休養・睡眠と健康	6～27	1	7/19 (土)	8/27 (水)
09 喫煙と健康 10 飲酒と健康 11 薬物乱用と健康 12 精神疾患の特徴 13 精神疾患の予防 14 精神疾患からの回復	28～43	2	10/11 (土)	10/25 (土)
15 現代の感染症 16 感染症の予防 17 性感染症・エイズとその予防 18 健康に関する意思決定・行動選択 19 健康に関する環境づくり 2 単元 安全な社会生活 01 事故の現状と発生要因 02 安全な社会の形成 03 交通における安全 04 応急手当の意義とその基本 05 日曜的な応急手当 06 心肺蘇生法	44～74	3	11/29 (土)	12/13 (土)

評価・単位修得認定の基準

○レポート・面接授業への取り組み状況及び年度末試験の結果を踏まえ、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。

○3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評価し、評定2以上の場合、単位を認定する。

通信教育実施計画

教科	科目	単位数	レポート回数	スクーリング回数
英語	オーラルコミュニケーション I	3	12	12

使用教科書

東書	C II	701	All Aboard English Communication I
----	------	-----	------------------------------------

目標

英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を行う。

(1) 聞くこと

ア 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握することができるようにする。

イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。

(2) 読むこと

ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができるようにする。

イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。

(3) 話すこと [やり取り]

ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができるようにする。

イ 社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝え合うことができるようにする。

(4) 話すこと [発表]

ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができるようにする。

イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができるようにする。

(5) 書くこと

ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。

イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。

学習計画

学 習 内 容	ページ	レポート		スクーリング
		回	提出期限	
Warm-Up ①②③ Pre-Lesson 1・2	8～19	1	5/10 (土)	5/31 (土)
Lesson1 Breakfast around the World	20～27	2	5/24 (土)	6/7 (土)
Lesson2 Australia's Cute Quokkas	38～37	3	5/31 (土)	6/14 (土)
Lesson3 A Train Driver in Sanriku	38～47	4	6/21 (土)	7/5 (土)
Lesson4 A Miracle Mirror	48～59	5	6/28 (土)	7/12 (土)
Lesson5 Learning from the Sea Reading1 Short Stories in English	60～77	6	8/27 (水)	9/20 (土)
Lesson6 A Funny Picture from the Edo Period	78～87	7	9/13 (土)	9/27 (土)
Lesson7 A Diary of Hope	88～97	8	9/20 (土)	10/4 (土)
Lesson8 A Door to a New Life	98～111	9	10/4 (土)	10/18 (土)
Lesson9 Fighting Plastic Pollution	112～121	10	10/11 (土)	10/24 (土)
Lesson10 Pigs from across the Sea	122～131	11	11/1 (土)	11/15 (土)
Reading2 The Wizard of Oz	32～141	12	11/29 (土)	12/13 (土)

評価・単位修得認定の基準

- レポート・面接授業への取り組み状況及び年度末試験の結果を踏まえ、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。
- 3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評価し、評定2以上の場合、単位を認定する。

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数
英語	英語演習	2	8	8

目標

既に履修修得した「オーラルコミュニケーションⅠ」について、以下に示す目標を踏まえて演習問題を行う。

英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を行う。

(1) 聞くこと

ア 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握することができるようにする。

イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。

(2) 読むこと

ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができるようにする。

イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。

(3) 話すこと [やり取り]

ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができるようにする。

イ 社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝え合うことができるようにする。

(4) 話すこと [発表]

ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができるようにする。

イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができるようにする。

(5) 書くこと

ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。

イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。

学習計画

学 習 内 容	レポート		スクーリング
	回	提出期限	
①発音 ②対話文 ③並び替え ④メッセージ ⑤空所穴埋め ⑥長文	1	5/10 (土)	5/31 (土)
①発音 ②対話文 ③並び替え ④メッセージ ⑤空所穴埋め ⑥長文	2	5/31 (土)	6/14 (土)
①発音 ②対話文 ③並び替え ④メッセージ ⑤空所穴埋め ⑥長文	3	6/28 (土)	7/12 (土)
①発音 ②対話文 ③並び替え ④メッセージ ⑤空所穴埋め ⑥長文	4	8/27 (水)	9/20 (土)
①発音 ②対話文 ③並び替え ④メッセージ ⑤空所穴埋め ⑥長文	5	9/20 (土)	10/4 (土)
①発音 ②対話文 ③並び替え ④メッセージ ⑤空所穴埋め ⑥長文	6	10/11 (土)	10/25 (土)
①発音 ②対話文 ③並び替え ④メッセージ ⑤空所穴埋め ⑥長文	7	11/1 (土)	11/15 (土)
①発音 ②対話文 ③並び替え ④メッセージ ⑤空所穴埋め ⑥長文	8	11/29 (土)	12/13 (土)

評価・単位修得認定の基準

- レポート・面接授業への取り組み状況及び年度末試験の結果を踏まえ、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。
- 3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評価し、評定2以上の場合、単位を認定する。

通信教育実施計画

教科	科目	単位数	レポート回数	スクーリング回数
芸術	書道 I	2	6	8

使用教科書

東書	書 I	701	書道 I
----	-----	-----	------

目標

<p>書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり 育成することを目指す。</p> <p>(1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>

学習計画

学 習 内 容	ページ	レポート		スクーリング
		回	提出期限	
書写から書道へ	2～9	1	5/17 (土)	6/7 (土)
漢字の書 漢字の成立と変遷 古典に基づく学習 楷書	10～37	2	6/7 (土)	6/21 (土)
行書	38～58	3	6/21 (土)	7/5 (土)
草書 隷書 篆書	59～73	4	8/16 (土)	8/27 (水)
仮名の書	74～103	5	9/6 (水)	9/20 (土)
漢字仮名交じりの書 篆刻・刻字	104～138	6	10/11 (土)	10/25 (土)
復習1		7	—	11/15 (土)
復習2		8	—	12/13 (土)

評価・単位修得認定の基準

<p>○レポート・面接授業への取り組み状況及び年度末試験の結果を踏まえ、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。</p> <p>○3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評価し、評定2以上の場合、単位を認定する。</p>

通信教育実施計画

教科	科目	単位数	レポート回数	スクーリング回数
家庭	家庭基礎	2	6	4

使用教科書

東書	家庭	701	家庭基礎
----	----	-----	------

目標

<p>生活の営みにかかる見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。</p> <p>(3)様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。</p>
--

学習計画

学習内容	ページ	レポート		スクーリング
		回	提出期限	
家族・社会との共生 第1章 生涯を見通す 第2章 人生をつくる	12～37	1	5/10 (土)	6/7 (土)
第3章 子どもと共に育つ 第4章 超高齢社会を共に生きる	38～77	2	5/24 (土)	
第5章 共に生き、共に支える生活の自立 第6章 食生活をつくる 1～5	78～118	3	8/23 (土)	9/6 (土)
第6章 食生活をつくる 6・7 第7章 衣生活をつくる	119～163	4	9/27 (土)	10/18 (土)
第8章 住生活をつくる	164～183	5	10/4 (土)	
第9章 経済生活を営む 第10章 持続可能な生活を営む生活の創造 第11章 これからの生活を創造する	184～213	6	11/22 (土)	12/6 (土)

評価・単位修得認定の基準

<p>○レポート・面接授業への取り組み状況及び年度末試験の結果を踏まえ、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。</p> <p>○3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評価し、評定2以上の場合、単位を認定する。</p>

通信教育実施計画

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数
情報	情報 I	2	6	4

使用教科書

東書	情報	701	新編情報 I
----	----	-----	--------

目 標

<p>情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。</p> <p>(2) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。</p> <p>(3) 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。</p>
--

学習計画

学 習 内 容	ページ	レポ-ト		スクーリング
		回	提出期限	
1章 情報で問題を解決する	5～32	1	5/10 (土)	5/31 (土)
2章 情報を伝える	33～60	2	5/17 (土)	
3章 コンピュータを活用する	61～88	3	6/28 (土)	7/12 (土)
4章 データを活用する	89～116	4	7/23 (土)	9/20 (土)
5章 活動して提案する	117～149	5	8/27 (水)	
巻末	150～189	6	10/18 (土)	11/1 (土)

評価・単位修得認定の基準

<p>○レポート・面接授業への取り組み状況及び年度末試験の結果を踏まえ、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。</p> <p>○3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評価し、評定2以上の場合、単位を認定する。</p>

通信教育実施計画

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数
キャリア	時事Ⅱ	1	3	3

使用教科書

自作プリント①～⑨

目 標

社会の動向や変化について、新聞をはじめ様々なメディアを通して理解を深め、社会に主体的にかかわる能力や態度を育成する。

学習計画

学 習 内 容	レポ-ト		スク-リング
	回	提出期限	
時事①～時事③現代社会が抱える課題等 最も印象に残った記事	1	5/24 (土)	6/7 (土)
時事④～時事⑥現代社会が抱える課題等 最も印象に残った記事	2	8/23 (土)	9/6 (土)
時事⑦～時事⑨現代社会が抱える課題等 最も印象に残った記事	3	10/18 (土)	11/1 (土)

評価・単位修得認定の基準

- レポート・面接授業への取り組み状況及び年度末試験の結果を踏まえ、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。
- 3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評価し、評定2以上の場合、単位を認定する。

通信教育実施計画

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数
キャリア	時事Ⅲ	2	6	6

使用教科書

自作プリント①～⑱

目 標

社会の動向や変化について、新聞をはじめ様々なメディアを通して理解を深め、社会に主体的にかかわる能力や態度を育成する。

学習計画

学 習 内 容	レポ-ト		スク-リング
	回	提出期限	
時事①～時事③現代社会が抱える課題等 最も印象に残った記事	1	5/24 (土)	6/7 (土)
時事④～時事⑥現代社会が抱える課題等 最も印象に残った記事	2	7/5 (土)	7/19 (土)
時事⑦～時事⑨現代社会が抱える課題等 最も印象に残った記事	3	8/23 (土)	9/6 (土)
時事⑩～時事⑫現代社会が抱える課題等 最も印象に残った記事	4	9/20 (土)	10/4 (土)
時事⑬～時事⑮現代社会が抱える課題等 最も印象に残った記事	5	10/18 (土)	11/1 (土)
時事⑯～時事⑱現代社会が抱える課題等 最も印象に残った記事	6	12/6 (土)	12/20 (土)

評価・単位修得認定の基準

- レポート・面接授業への取り組み状況及び年度末試験の結果を踏まえ、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。
- 3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評価し、評定2以上の場合、単位を認定する。

総合的な探究の時間 1	単位数	レポート回数	スクーリング回数
	1	3	3

目標

探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。
- (2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- (3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

学習計画

区分	内 容	レポート	スクーリング
課題設定	総合的な探究の時間における探究テーマを決める。	①5/3 (土)	
	課題設定の背景、理由等について互いに述べ合う。必要に応じて修正を加える。		①5/17 (土)
中間報告	取り組みの中間状況をまとめる。	②9/13 (土)	
	取り組みの中間状況を互いに発表する。今後の探究活動について互いに意見提案等を行う。		②9/27 (土)
最終報告	取り組み最終状況をまとめる。	③12/6 (土)	
	取り組みの最終状況について報告する。		③12/20 (土)

評価・単位修得認定の基準

- レポート・面接授業への取り組み状況を踏まえ、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。
- 3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評価し、評定2以上の場合、単位を認定する。

総合的な探究の時間 3	単位数	レポート回数	スクーリング回数
	1	3	3

目標

探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。
- (2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- (3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

学習計画

区分	内 容	レポート	スクーリング
課題設定	総合的な探究の時間における探究テーマを決める。	①5/3 (土)	
	課題設定の背景、理由等について互いに述べ合う。必要に応じて修正を加える。		①5/17 (土)
中間報告	取り組みの中間状況をまとめる。	②9/13 (土)	
	取り組みの中間状況を互いに発表する。今後の探究活動について互いに意見提案等を行う。		②9/27 (土)
最終報告	取り組み最終状況をまとめる。	③12/6 (土)	
	取り組みの最終状況について報告する。		③12/20 (土)

評価・単位修得認定の基準

- レポート・面接授業への取り組み状況を踏まえ、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。
- 3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評価し、評定2以上の場合、単位を認定する。